

6 外出や社会参加の状況について

(1) 外出の際に困っていること（複数回答）

外出の際に困っていることは、身体障害者では「歩道が狭く、放置自転車などの障害物が多いなど、歩道が歩きにくい」が最も多く 27.2%となっている。

知的障害者では、「まわりの人と話すのがむずかしい」が最も多く 33.1%となっている。

精神障害者では、「特に困っていることはない」が 44.5%いる中で、「他人の視線が気になる」が最も多く 21.7%となっている。

難病患者では、「特に困っていることはない」が 40.8%いる中で、「歩道が狭く、放置自転車などの障害物が多いなど、歩道が歩きにくい」が最も多く 19.7%となっている。

施設入所者では、「建物などに段差が多く、利用しにくい」が最も多く 29.0%となっている。

(単位：%)

区 分	身体障害者 (n=558)	知的障害者 (n=248)	精神障害者 (n=434)	難病患者 (n=346)	施設入所者 (n=100)
付き添ってくれる人がいない	5.6	10.5	8.1	6.1	25.0 (3位)
他人との会話が難しい	14.5	33.1 (1位)	20.3 (3位)	4.6	26.0 (2位)
他人の視線が気になる	9.3	17.7 (3位)	21.7 (2位)	8.7	9.0
必要なときに、周りの人の手助け・配慮が足りない	11.5	8.1	10.4	7.2	10.0
歩道が狭く、放置自転車などの障害物が多いなど、歩道が歩きにくい	27.2 (1位)	14.1		19.7 (2位)	14.0
建物などに段差が多く、利用しにくい	24.0 (3位)	8.9		19.1 (3位)	29.0 (1位)
車を駐車するところがない	13.1	6.0		7.8	4.0
気軽に利用できる移送手段が少ない	8.8	10.1		7.5	16.0
電車やバスなどが利用しづらい	18.1	16.1		13.0	11.0
障害者用のトイレが少ない	16.1	12.5		14.7	17.0
その他	9.3	4.0	12.0	9.2	9.0
特に困っていることはない	26.0 (2位)	29.0 (2位)	44.5 (1位)	40.8 (1位)	19.0
無回答	10.8	14.9	7.4	5.8	10.0

(注) 精神障害者には、斜線の選択肢を質問していない。

【前回調査との比較】

(単位：%)

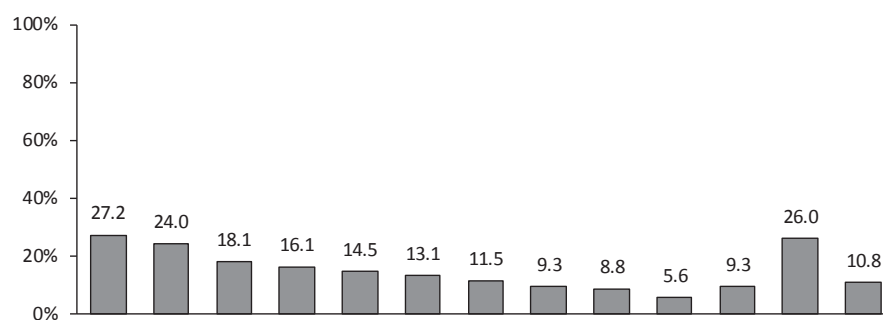
区 分		1 位	2 位	3 位
身体障害者	今回 (n=558)	歩道が狭く、放置自転車などの障害物が多いなど、歩道が歩きにくい (27.2)	特に困っていることはない (26.0)	建物などに段差が多く、利用しにくい (24.0)
	前回 (n=2,064)	歩道が狭く、放置自転車などの障害物が多いなど、歩道が歩きにくい (26.6)	特に困っていることはない (24.2)	建物などに段差が多く、利用しにくい (23.0)
知的障害者	今回 (n=248)	他人との会話が難しい (33.1)	特に困っていることはない (29.0)	他人の視線が気になる (17.7)
	前回 (n=350)	他人との会話が難しい (30.9)	特に困っていることはない (22.0)	他人の視線が気になる (19.7)
精神障害者	今回 (n=434)	特に困っていることはない (44.5)	他人の視線が気になる (21.7)	他人との会話が難しい (20.3)
	前回 (n=311)	特に困っていることはない (31.8)	他人の視線が気になる (28.0)	他人との会話が難しい (25.1)

【身体障害者】

障害の程度別にみると、重度（1・2級）では「障害者用のトイレが少ない」の割合が高くなっている。

障害の種類別にみると、視覚障害、肢体不自由（上肢、下肢等）、肢体不自由（体幹）では「歩道が狭く、放置自転車などの障害物が多いなど、歩道が歩きにくい」「建物などに段差が多く、利用しにくい」が多くなっている。

外出の際に困っていること



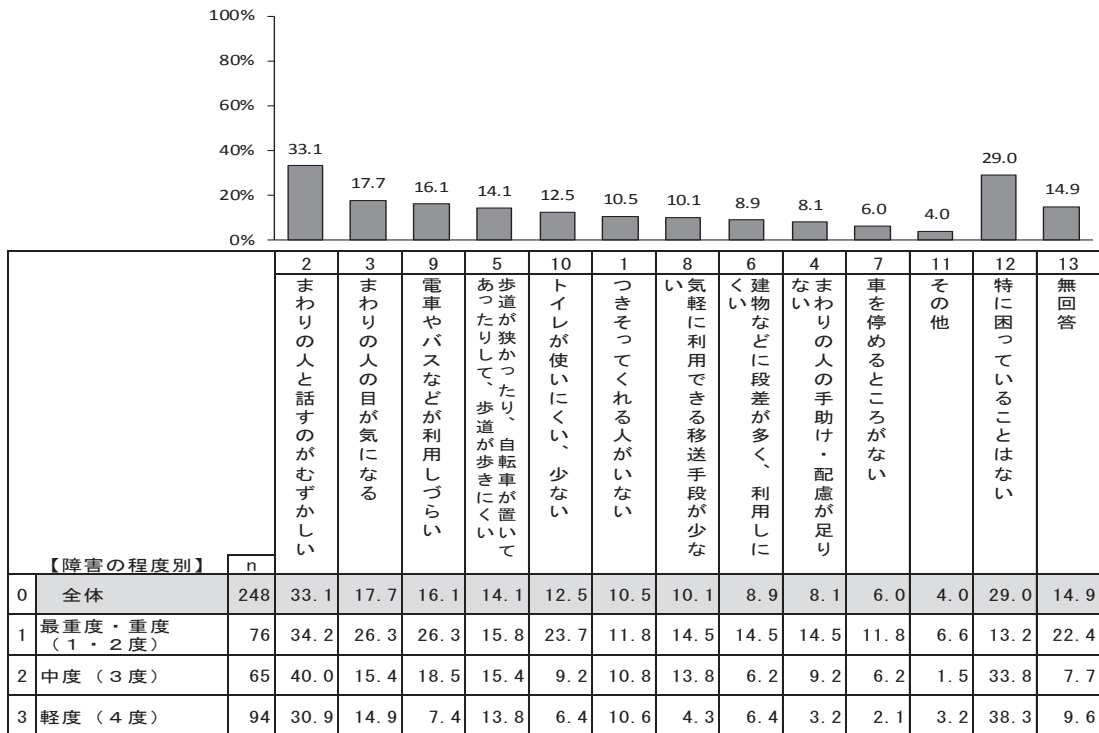
【障害の程度別】	n	5	6	9	10	2	7	4	3	8	1	11	12	13
		歩道が狭く、放置自転車などの障害物が多いなど、歩道が歩きにくい	建物などに段差が多く、利用しにくい	電車やバスなどが利用しづらい	障害者用のトイレが少ない	他人との会話が難しい	車を駐車するところがない	必要ときに、周りの人の手助け・配慮が足りない	他人の視線が気になる	気軽に利用できる移送手段が少ない	付き添ってくれる人がいない	その他	特に困っていることはない	無回答
0 全体	558	27.2	24.0	18.1	16.1	14.5	13.1	11.5	9.3	8.8	5.6	9.3	26.0	10.8
1 重度（1・2級）	307	34.2	32.2	23.1	23.5	16.0	18.6	14.7	9.8	13.0	5.9	8.8	22.1	9.8
2 中度（3・4級）	173	18.5	13.9	13.3	7.5	11.6	7.5	9.2	8.7	5.2	4.6	9.8	32.4	9.2
3 軽度（5・6級）	63	20.6	15.9	7.9	3.2	15.9	4.8	4.8	7.9	-	6.3	11.1	31.7	14.3

【障害の種類別】		5	6	9	10	2	7	4	3	8	1	11	12	13	
1	視覚障害	89	56.2	40.4	16.9	6.7	3.4	3.4	14.6	7.9	3.4	10.1	14.6	11.2	7.9
2	聴覚障害	92	6.5	5.4	10.9	5.4	43.5	4.3	9.8	7.6	5.4	3.3	6.5	26.1	14.1
3	平衡機能障害	2	50.0	50.0	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0
4	音声・言語・そしゃく機能の障害	18	5.6	11.1	5.6	5.6	44.4	-	-	11.1	5.6	16.7	11.1	27.8	-
5	肢体不自由（上肢、下肢等）	138	41.3	44.2	31.2	34.1	10.9	25.4	15.9	13.0	17.4	5.8	13.0	20.3	6.5
6	肢体不自由（体幹）	48	39.6	37.5	31.3	31.3	10.4	27.1	20.8	14.6	18.8	8.3	8.3	18.8	4.2
7	内部障害	136	7.4	5.1	9.6	8.1	5.9	10.3	5.1	5.9	3.7	1.5	4.4	45.6	13.2
8	その他	14	28.6	14.3	7.1	7.1	-	21.4	7.1	7.1	14.3	-	7.1	21.4	35.7

【知的障害者】

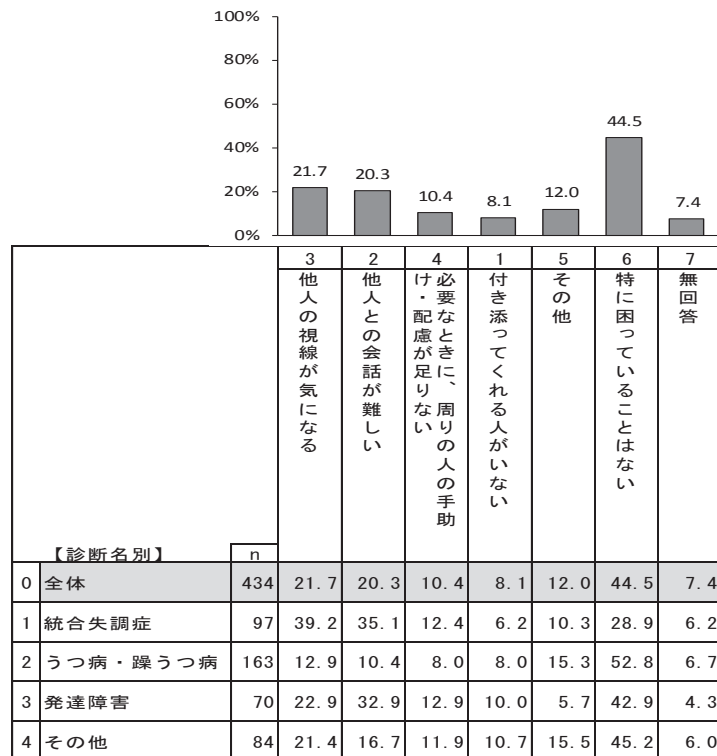
障害の程度別にみると、いずれも「まわりの人と話すのがむずかしい」の割合が高くなっている。最重度・重度（1・2度）では、「トイレが使いにくい、少ない」の割合も高くなっている。

外出の際に困っていること



【精神障害者】

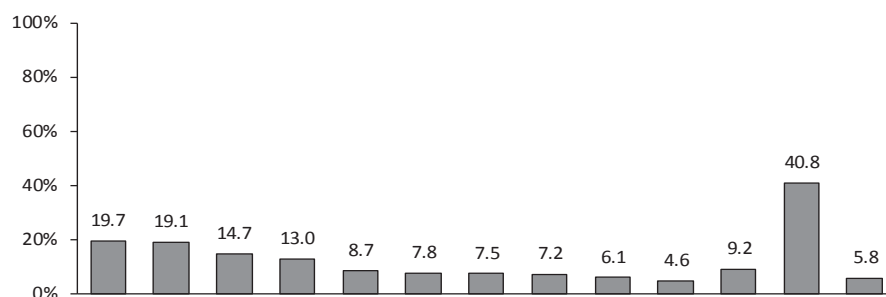
診断名別にみると、統合失調症、発達障害と診断されている人では「他人との会話が難しい」（それぞれ35.1%、32.9%）が多くなっている。



【難病患者】

疾病系統別にみると、神経系では「歩道が狭く、放置自転車などの障害物が多いなど、歩道が歩きにくい」「建物などに段差が多く、利用しにくい」（ともに36.0%）、「トイレが使いにくい・少ない」（22.0%）が多くなっている。膠原病系では約5割が「特に困っていることはない」と回答している。

外出の際に困っていること



【疾病系統別】	n	5	6	10	9	3	7	8	4	1	2	11	12	13
		歩道が狭く、放置自転車などの障害物が多いなど、歩道が歩きにくい	建物などに段差が多く、利用しにくい	トイレが使いにくい・少ない	電車やバスなどが利用しづらい	他人の視線が気になる	車を駐車するところがない	気軽に利用できる移送手段が少ない	必要なときに、周りの人の手助け・配慮が足りない	付き添ってくれる人がいない	他人との会話が難しい	その他	特に困っていることはない	無回答
0 全体	346	19.7	19.1	14.7	13.0	8.7	7.8	7.5	7.2	6.1	4.6	9.2	40.8	5.8
1 神経系	100	36.0	36.0	22.0	26.0	10.0	9.0	17.0	8.0	11.0	10.0	12.0	22.0	8.0
2 膠原病系	111	9.9	11.7	19.8	9.9	8.1	5.4	2.7	9.0	3.6	1.8	6.3	46.8	1.8
3 その他	123	14.6	12.2	4.1	5.7	8.1	7.3	4.1	4.9	3.3	1.6	9.8	52.0	6.5

(2) 今後してみたい活動（複数回答）

今後してみたい活動は、いずれも「旅行」が最も多くなっている。

また、身体障害者では、「趣味などのサークル活動」（28.9%）、知的障害者、精神障害者、難病患者では、「スポーツやレクリエーション」がそれぞれ37.5%、31.6%、28.9%と続いている。施設入所者では、「地域の行事やお祭」（33.0%）が続いている。

(単位：%)

区 分	身体障害者 (n=558)	知的障害者 (n=248)	精神障害者 (n=434)	難病患者 (n=346)	施設入所者 (n=100)
スポーツやレクリエーション	27.4 (3位)	37.5 (2位)	31.6 (2位)	28.9 (2位)	27.0 (3位)
旅行	45.9 (1位)	47.2 (1位)	41.5 (1位)	53.5 (1位)	44.0 (1位)
ボランティア活動	7.9	3.2	13.1	14.7	4.0
障害者団体の活動	8.2	8.1	3.9	8.7	4.0
趣味などのサークル活動	28.9 (2位)	27.0 (3位)	27.4 (3位)	25.7 (3位)	16.0
講座や講演会などへの参加	12.4	4.0	14.3	17.1	3.0
地域の行事やお祭	15.6	25.0	11.1	9.2	33.0 (2位)
その他	5.0	3.6	12.7	7.8	16.0
特に活動したくない	15.1	15.3	18.7	13.3	14.0
無回答	12.7	11.7	6.5	8.4	10.0

(3) 活動に参加するために必要な支援（複数回答）

希望する活動に参加するために必要な支援は、身体障害者では「障害のある人に配慮した施設や設備があること」が最も多く32.3%、「活動についての情報が提供されること」（32.1%）もほぼ同じ割合を示している。

知的障害者では、「きちんと教えてくれる人がいること」が最も多く42.3%、次いで「手助けをしてくれる人がいること」が39.9%で続いている。

精神障害者では、「活動についての情報が提供されること」が最も多く34.3%、次いで「活動する場所が近くにあること」が31.1%で続いている。

難病患者では、「活動についての情報が提供されること」「難病の方に配慮した施設や設備があること」が最も多くともに28.3%となっている。

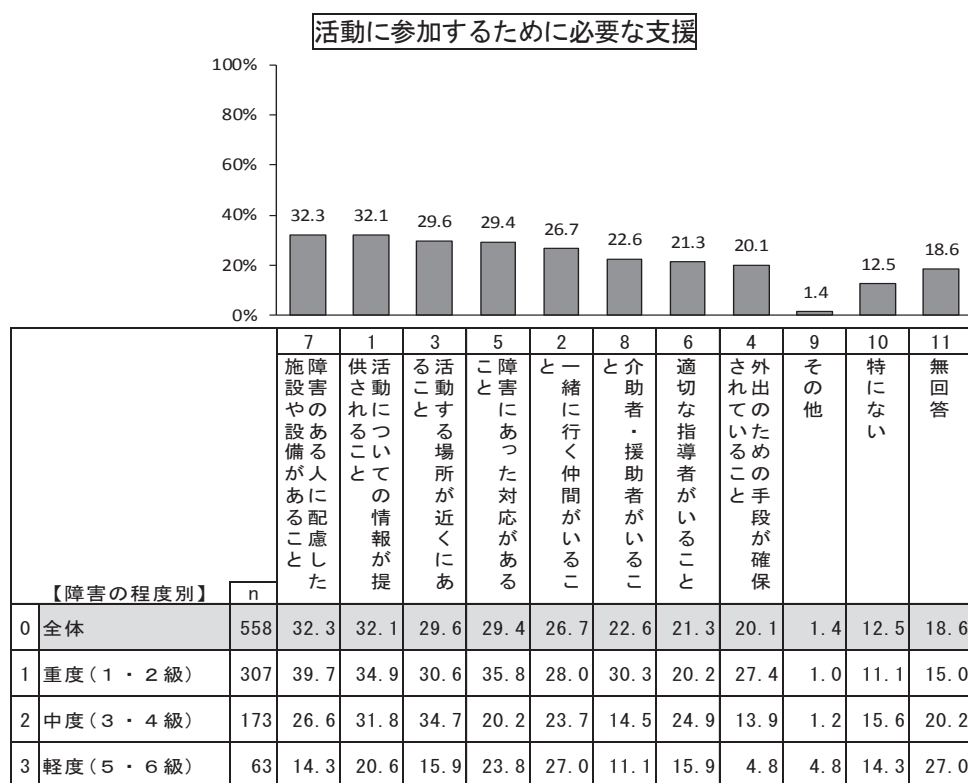
施設入所者では、「手助けをしてくれる人がいること」が最も多く57.0%、次いで「外出のための手助け・サービスがあること」が46.0%となっている。

(単位：%)

区 分	身体障害者 (n=558)	知的障害者 (n=248)	精神障害者 (n=434)	難病患者 (n=346)	施設入所者 (n=100)
活動についての情報が提供されること	32.1 (2位)	27.4	34.3 (1位)	28.3 (1位)	18.0
一緒に行く仲間がいること	26.7	30.6	28.8 (3位)	21.7	21.0
活動する場所が近くにあること	29.6 (3位)	32.3	31.1 (2位)	26.0 (3位)	18.0
外出のための手段が確保されていること	20.1	33.9	13.6	20.8	46.0 (2位)
障害（精神疾患の症状/難病の方）にあった対応があること	29.4	37.5 (3位)	26.0	26.0 (3位)	37.0 (3位)
適切な指導者がいること	21.3	42.3 (1位)	27.0	14.2	29.0
障害のある人（精神疾患のある方/難病の方）に配慮した施設や設備があること	32.3 (1位)	23.4	26.5	28.3 (1位)	27.0
介助者・援助者がいること	22.6	39.9 (2位)	19.8	15.6	57.0 (1位)
その他	1.4	3.6	4.6	3.5	4.0
特になし	12.5	10.5	18.0	14.7	9.0
無回答	18.6	16.9	10.4	13.3	14.0

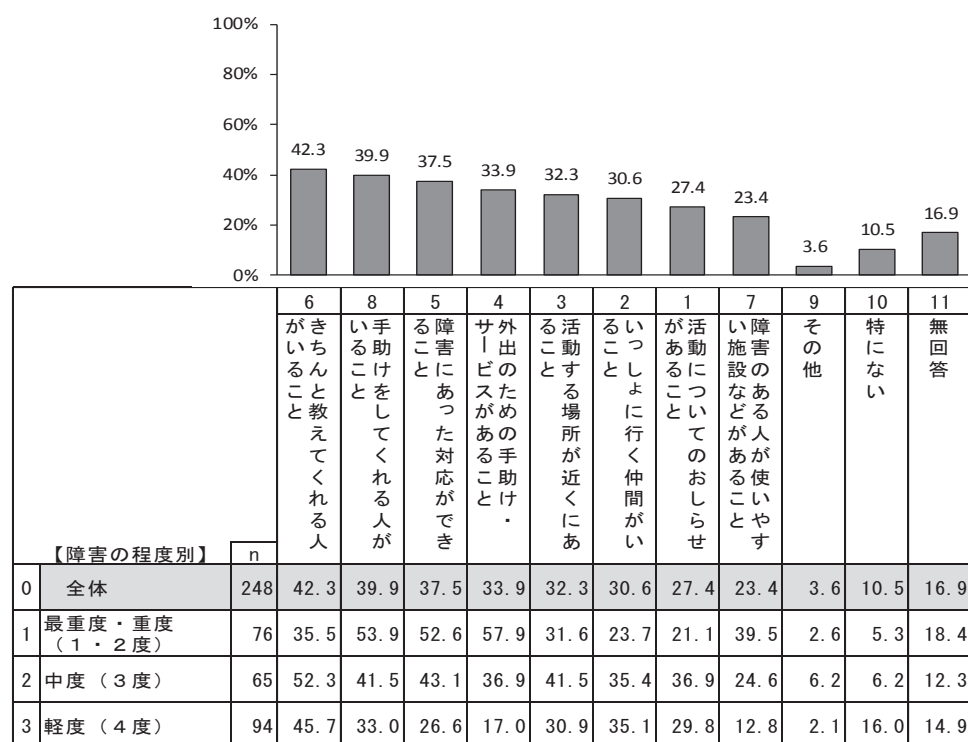
【身体障害者】

障害の程度別にみると、重度（1・2級）では、「障害のある人に配慮した施設や設備があること」、中度（3・4級）では、「活動する場所が近くにあること」、軽度（5・6級）では、「一緒に行く仲間がいること」が最も多くなっている。



【知的障害者】

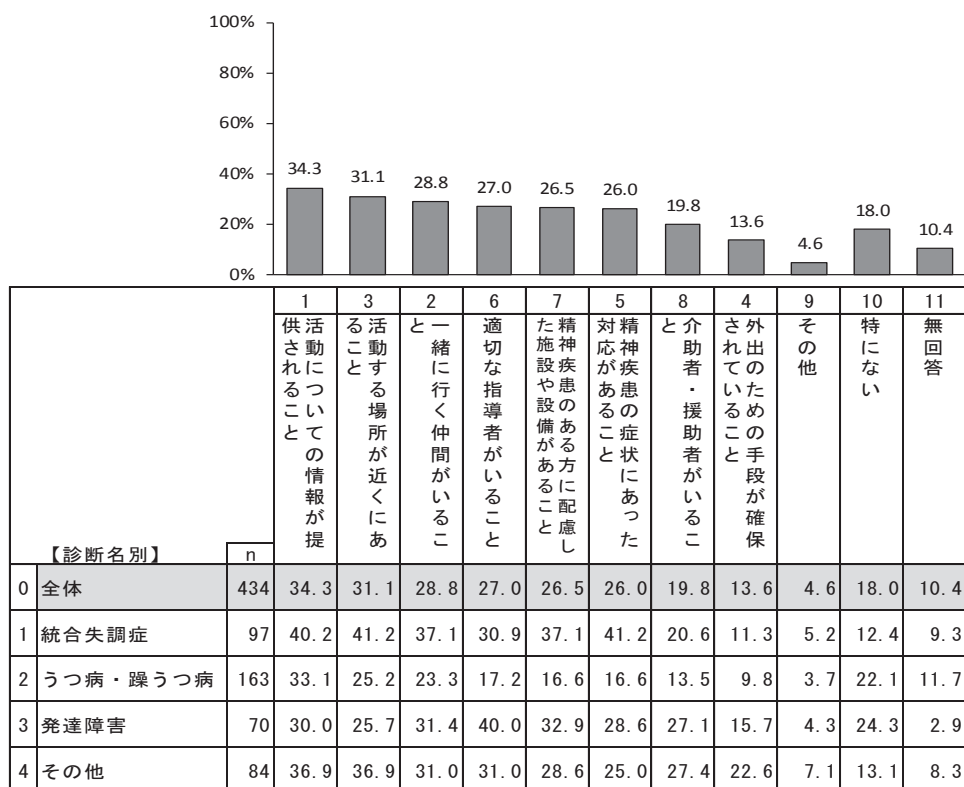
障害の程度別にみると、最重度・重度（1・2度）では、「外出のための手助け・サービスがあること」、中度（3度）軽度（4度）では、「きちんと教えてくれる人がいること」が最も多くなっている。



【精神障害者】

診断名別にみると、統合失調症と診断されている人では、「活動する場所が近くにあること」「精神疾患の症状にあった対応があること」がともに41.2%で最も多く、発達障害と診断されている人では「適切な指導者がいること」が40.0%で最も多くなっている。

活動に参加するために必要な支援



【難病患者】

疾病系統別にみると、神経系では「難病の方に配慮した施設や設備があること」が最も多く、膠原病系では「活動に関する情報が提供されること」の割合が最も多くなっている。

